



[公財] 日本太鼓財団

NIPPON TAIKO FOUNDATION

会報

発行・編集 2013年 7月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

公益財団法人日本太鼓財団 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL: <http://www.nippon-taiko.or.jp> Email: info@nippon-taiko.or.jp

第17回日本太鼓チャリティコンサートを開催 「特定非営利活動法人キッズドア」の事業活動を支援



(フィナーレ)

5月31日(金)、恒例となった日本太鼓チャリティコンサートを草月ホール(東京都港区)にて開催いたしました。

このコンサートは日本財団の助成事業として行われ、今回は「特定非営利活動法人キッズドア」の事業活動を支援するために実施いたしました。「キッズドア」は東日本大震災で被災した子供たちや、日本で貧困状況にある子供たちへの学習サポート活動を行っています。

公演には各国の在日大使、政・官・財界及び各分野で活躍されている方をはじめ、約300名の方々にご出席いただき、会場に展示された「キッズドア」の活動を紹介するパネルが、多くのお客様の関心を集めました。

開演に先立ち、主催者を代表して塩見和子理事長、共催者を代表して「キッズドア」渡辺由美子理事長のご挨拶の後、当財団加盟770団体から選ばれた3団体に加え、昨年11月に開催された「第9回日本太鼓シニアコンクール」で名人位に輝いた北村喜昌氏(石川)、また本年3月に開催された「第15回日本太鼓ジュニアコンクール」の優勝チームである「手取亢龍若鮎組」(石川)、そして今年度より新設された沖縄県支部より「総管太鼓同志会」(沖縄)が出演し、合計6団体による演奏が行われました。

まず、「霊峰太鼓」(山梨)は霊峰富士を見渡せるホテル鐘山苑のスタッフによるチームです。毎晩ホテルで演奏する勇壮な太鼓を披露しました。

「総管太鼓同志会」(沖縄)は、この4月に新たに当財団のメンバーとなった女性中心のチームです。沖縄らしい雰囲気でも好評でした。「水舞流越中八幡太鼓保存会」(富山)は、チーム名の通り、水が舞うような流麗な演奏でお客様を楽しませました。次に知的障害者の皆さんによる「恵那のまつり太鼓」(岐阜)が舞台狭しと、心を込めた力一杯の演奏で盛り上げて下さいました。続いての登場は、昨年のシニアコンクールで名人位を71歳で獲得した「加賀太鼓保存会」(石川)の北村喜昌氏がベテランの味を披露しました。最後は「手取亢龍若鮎組」(石川)の演奏です。ジュニアコンクールにおいて2005年に続き2度目の優勝に輝いた子供たちの演奏です。全国で開かれた予選415チーム(4,420名)から選ばれた47チームにブラジルと台湾の優勝チームを加えた激戦を勝ち抜いた演奏は、王者の貫録を感じさせました。

フィナーレは、出演者全員が舞台上がり、塩見理事長の音頭でお客様とともに恒例の手締めで幕を閉めました。

コンサート終了後には、帰路に着くお客様のために全団体が通路に並び、会場出口では「手取亢龍若鮎組」の送り太鼓でお見送りしました。観客の皆様は、「太鼓に元気をもらった」「感動した!」と喜んでおられました。

皆様のご協力により1,112,000円の募金が集まり、全額を「キッズドア」にお渡しいたしました。被災した子供たちや、貧困家庭の子供たちの学習サポート活動に大切に役立てていきたいとのことでした。

ご来場頂いた皆様並びに出演者の方々に心より感謝申し上げます。

<出演団体>

1. 霊峰太鼓(山梨)
2. 総管太鼓同志会(沖縄)
3. 水舞流越中八幡太鼓保存会(富山)
4. 恵那のまつり太鼓(岐阜)
5. 北村喜昌・加賀太鼓保存会(石川)
*第9回シニアコンクール名人位
6. 手取亢龍若鮎組(石川)
*第15回ジュニアコンクール優勝チーム

*** 「キッズドア」よりご寄稿いただきました。**

特定非営利活動法人キッズドア 理事長 渡辺 由美子

このたびは第17回日本太鼓チャリティコンサートを開催していただき、支援先に私ども「特定非営利活動法人キッズドア」を選んでいただきましたこと、本当に嬉しく心より感謝申し上げます。

当団体は、「すべての子どもが夢や希望を持てる社会の実現にむけて」をテーマに2007年から活動いたしております。日本の子どもの貧困率は15.7%、約6人に1人が貧困という状況です。教育や子育てにお金のかかる日本では、低所得世帯で育つ子どもが大人になって、また低所得になる「貧困の連鎖」が生じています。キッズドアでは、学習支援や体験活動、キャリア教育を通じて貧困の連鎖を断ち切り、すべての子どもたちが将来に夢や希望を持てる社会の実現を目指しています。また、東日本大震災以降は仙台を拠点に、被災した子どもたちへの学習支援や体験活動なども行っております。震災から2年以上が経ちましたが、まだまだ復興への道のりは遠く、今後とも子どもたちの支援を継続して参る所存です。

コンサートでは、子どもから大人までの力強い太鼓の音とパフォーマンスにそれぞれがとても深い感動を受け、パワーをいただきました。沖縄の可愛らしいお嬢さんたちから想像出来ないような迫力の演奏、伝統に裏打ちされた美しい水舞流の太鼓、賑やかなまつり太鼓や、Jr.コンクール優勝チームの見事な演奏など、どれも素晴らしい演奏でした。ご来場いただいた支援者や弊団体のボランティアの方々からも、感激の声をたくさんいただきました。

当日の募金総額は1,112,000円となりました。太鼓の演奏を終えた出演者の方からも募金を頂戴し、みなさまの暖かいお気持ちに心が熱くなりました。いただいたご寄付は、一人でも多くの子どもの笑顔や明るい未来を作るための活動に使わせていただきます。

とても素晴らしい演奏を見せてくださいました演奏者の皆様、ご来場くださいました皆様、そしてこのチャリティコンサートを開催してくださいました日本太鼓財団の会長、理事長様をはじめ、役職員の方々に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



(霊峰太鼓・山梨)



(総管太鼓同志会・沖縄)



(水舞流越中八幡太鼓保存会・富山)



(恵那のまつり太鼓・岐阜)



(北村喜昌・加賀太鼓保存会・石川)



(手取穴龍若鮎組・石川)

* 3月のジュニアコンクールに来日したブラジル及び台湾チームより感想文をいただきました。

ブラジル「天龍和太鼓」

チーム監督 矢野ナイル雪子

3月19日、たくさんの人に空港で見送られ日本に向けて出発。子どもたちはみな喜びに満ち溢れていましたが、私は子どもたちの演奏への不安や責任感で押しつぶされそうでした。蓑輪先生がいて下さることが心の支えになっていましたが、それでも不安でいっぱいでした。

成田に降り立ち、日本太鼓財団の中西さん、成瀬さん、ブラジル出身のフェリペさんのお顔を見たら急にほっといたしました。

22日、金沢市長を表敬訪問いたしました。そして大会の会場を見学、きれいで大きいことに驚きました。

23日は入退場等のリハーサル、慣れないことばかりで子どもたちの不安はいかほどかと見れば、意外にも私よりずっと落ち着いていました。

24日、泣いても笑っても今日が本番。各チームが次々とすばらしい演奏を繰り広げていました。整然とした入退場、一分の狂いもない進行、いよいよブラジルチームの番です。入場—演奏—退場とあっという間に終わりました。表彰式、まさかの特別賞のアナウンス！とてもうれしかった！長い練習の日々も忘れませんでした。受賞後に塩見理事長が私たちチームに会いに来て下さり、笑顔で大変良かったと言ってくださいました。とてもうれしく大切な思い出になりました。乱れのない分刻みの進行、会場で行き交う人々がみんな挨拶を交わっていたことも今回のジュニアで学びました。副賞でいただいた長胴太鼓を製作した浅野太鼓に見学に来ていただき、原木の大きさに驚き、また渡辺洋一先生のレッスンを受け、子どもたちは、とても喜んでいました。

日本に来て何もかも喜びと驚きの連続でしたが、これまで写真でしか見たことのなかった富士山を目の当たりにしたときは感動で胸がいっぱいになりました。朝日に輝く山頂の雪、流れる雲、そして何と大きく雄大なこと、美しいだけでは言葉が足りず、ただ頭が下がる思いでした。また桜の花の静かでした。そして日本の花と違い、これぞ日本の花と思ひ、日本の子どもに生まれたことをうれしく思いました。

東京に戻る途中、JICAの横浜移民資料館を見せていただきました。日本が貧しかったころ、移民の道を選んだ祖父母、どんな思いで最後の祖国を眺めたのだろうと思ひを馳せました。

楽しいときの時間は早く帰国が近い。塩見理事長をはじめ、日本財団、JICA、こんなにも楽しい思い出を一杯、まるで私達を家族のように、優しく歓迎していただきました。皆さんのおかげで全員元気にブラジルに帰り、大変お世話になりました。

またお会いできますことを楽しみに、みんなでお待ちしております。

演奏リーダー 中村タチアナ茉莉

3月21日に日本に到着し、空港では中西さん、成瀬さん、フェリペさんと旅行社の方々が、私達を迎えてくれました。バスに乗ると、フェリペさんから今回の旅の注意点、ルールを守る大切さを教えていただき、全員でメモを取りました。

翌日、会場に行って、太鼓を確認しました。非常によくチューニングされて異なる音色の太鼓がたくさんありました。スタッフも素晴らしかったです。たくさんいても統率がとれていて、細部に至るまで慎重でした。大澤さんに大切なポイントをアドバイスしていただきました。リハーサルの見学中には映像で見るのと違ってレベルが非常に高いし、みんな小さな頃から練習していることがわかりました。私たちは、色々なことを改善しなきゃ、と思いました。

いよいよ大会の日、次々と演奏が進み、私達の番がきました。みんな緊張しながらも一生懸命演奏しました。そして表彰式で特別賞に呼ばれたときは、うれしさと驚きで胸がいっぱいになりました。

台湾チームと「輪島・和太鼓虎之介」との交流会はとても楽しかったです。遠く離れた地域に住んでいても、太鼓でつながることができうれしかったです。

浅野太鼓を訪問したときは、楽器や太鼓の内側を見せていただき、その多様性に驚きました。太鼓製造をいかに工夫しているかを教えて下さいました。渡辺先生の特別講習会、非常に効果的でした。「常に基礎練習が大切だ」と日頃の練習に多くのヒントをいただきました。

JICAを訪問したとき、祖先は未来の私たちが豊かな人生を送れるようにどれほど頑張ったのかを聞いて感動しました。

私たちは、写真には収めきれない美しい風景を見たり、しゃぶしゃぶをはじめ色々な料理を食べたり、温泉なども体験することができました。

このような機会を与えていただき、日本太鼓財団、日本財団、ブラジル太鼓協会の皆さま、本当にありがとうございました。ブラジルに戻ってこれらの素晴らしい思い出を皆に伝えたいと思います。またいつか日本に来てこの国の伝統を学びたいです



(ジュニアコンクールでの演奏・天龍和太鼓)



(ジュニアコンクールでの演奏・葫蘆墩Smile太鼓團)

台湾「葫蘆墩(フルトン)Smile太鼓團」

代表 馮韻怡

私は子ども達と3月21日の夕方に小松空港に到着し、長谷川義先生をはじめ、財団の浅野副会長、大澤事務局長や印出さんのお出迎えを受け、大変嬉しく思いました。この5年間日本でジュニアコンクールを見学するたびにどのチームも非常にまじめな態度で自信に満ち溢れており、羨ましく思っていました。いつか自分の教え子もこの舞台に参加出来ればいいなとずっと願っておりました。思いが現実になり、感激の気持ちが込み上げ目が熱くなりました。しかし台湾代表として、気は抜けません。

葫蘆墩Smile太鼓團は一年前から先輩コーチの新ちゃん(施宇哲)が来てくれて、子ども達は長谷川先生の教え通り、必死に太鼓の練習をしました。その過程には様々な困難を乗り越え、保護者にもご理解ご協力を頂いた末、台湾のジュニアコンクールで優勝し、日本へ行くことが出来ました。今まで苦労した甲斐がありました。

金沢歌劇座の広い会場でのリハーサルでは子ども達は慣れない場所や太鼓に緊張しながらも一生懸命頑張りました。長谷川先生からの修正を受け、夜遅くまで空のトランクを使って練習をしました。先生のOKサインが出た時にはホッとしました。本番はリハーサル通りに頑張ろうと決めました。そして、全国からのチームのリハーサルを見学し、礼儀正しさ、素晴らしい演奏、真剣に取り組む姿に良い刺激をいただきました。また、現場スタッフの仕事ぶりや正確さに感動し、とても勉強になりました。

本番の前夜、ブラジル「天龍和太鼓」と昨年度優勝チームの「輪島・和太鼓虎之介」との交流会を行いました。言葉の壁はありましたが、子どもたちは文化交流をし、とても楽しい一時だったようです。

いよいよ本番当日、私達の出番は47番目。出番までに各チームの演奏を観賞し、一番感動したチームに台湾太鼓協会賞を差し上げます。全員一致で大分県「由布はさま太鼓」に差し上げることになりました。小さな5人組ですが度胸と技術に感服いたしました。素晴らしかったです。

いよいよ台湾葫蘆墩Smile太鼓團の出番が来ました。緊張の中、子ども達は全力投入、日頃の練習成果を発揮し、立派な演奏でした。結果発表を待ち続け、3位となりました。凄い！予想外でしたがとても嬉しく思います。沢山の方々のお蔭です。感謝の気持ちでいっぱいです。

まず、日本太鼓財団塩見理事長に厚くお礼を申し

上げます。いつも会うたびに沢山の励ましを頂き、心の支えになり、ここまで頑張ってきました。そして、5年間指導し続けて下さった長谷川先生、本当にありがとうございました。また、日本太鼓財団の中西常務や大澤事務局長をはじめ職員スタッフの皆様、石川県支部スタッフの皆様にも大変お世話になりました。私たちメンバーにとって一生忘れない良い思い出になりました。この栄光は台湾の皆のものでもあります。感謝！感謝！

演奏メンバー 陳婉綺

以前はジュニアコンクールのDVDを通して、日本チームの演奏を鑑賞しましたがやっと今回自分が台湾代表として現場に来て、太鼓の臨場感、迫力満点の生演奏を体験しました。

2日目に初めてブラジル代表「天龍和太鼓」と交流しました。始めはみんな恥ずかしさから話さなかったのですが、食事をしながら徐々に会話も増え、ブラジルの方の情熱を感じ、お互いの文化を分かち合いました。

3日目には日本各地から来たチームのリハーサルを見学し、各チームそれぞれの特色があり、同じ課題曲でも表現が異なりとても良かったです。

この5日間は忙しかったですが、充実感がとても心地よかったです。最初の晩は中々寝られずにいましたが最後の晩はベッドに入るとすぐに寝ました。コンクールに良い成績を出すために再三練習をする過程は大変でしたが楽しさも味わいました。

日本の舞台に立つのは私の夢でした。今回が私の最後のチャンスでした。この1年間は何があっても頑張ると決めていました。始めのうちはメンバーの実力がばらばらでしたが、そこから基本練習の強化、スピードの訓練、そして筋力の強化練習に時間を増やし、大変ですが皆困難を乗り越え、手にマメが出来るとテープをはり、バチが折れたら、新しいのに換えました。皆の目標は台湾ジュニアコンクールに優勝し、日本へ行くことでした。

私達は目標を達成しました。日本でも良い成績を収めました。これは沢山の方の助けや支持と協力のお蔭です。心から感謝致します。また、メンバーの協力がなければ出来ませんでした。今回の素晴らしい経験は、太鼓以外のことにも応用できると思います。私達も不屈の精神で太鼓を打ち、励んでいきたいと思えます！本当に有り難うございました！



(交流会の様子)

ジュニアコンクール特別講習会に参加して

「太鼓衆多仲や一門」（北海道）代表 田中 浩照

この度、石川県金沢市で開催された第15回日本太鼓ジュニアコンクール及び特別講習会に参加する機会をいただき、入賞はできなかったものの大変貴重な経験としてチームの前進に役立ったと感じております。

支部予選会終了後の練習、出場準備、リハーサルと慌ただしい日々が経過し、いよいよ本番当日。出演順番2番目ということもあり、演奏終了後は各チームの演奏を存分に観ることができました。それぞれに素晴らしい演奏、レベルの高さを目の当たりにし、今後自分たちのチームが取りくむべきものは何かということなどの様々な思いが頭の中をよぎる事となりました。

そんな状況の中で特別講習会を受講し、講師の先生方に様々な質問を投げかけ、それに対し懇切丁寧な説明をいただき進むべき方向が自分なりに見えてきたような講習会でした。

講師の先生と私達のチームだけの、いうなればマンツーマン形式の講習会で私はもとより高校生のメンバーも積極的に質問し大変貴重な時間を過ごすことができました。また、コンクールでの自分たちの演奏の結果を受けていろいろなアドバイスもいただき、それは今後の練習、演奏に役立てていくことができる貴重な財産だと思います。

今回の第15回日本太鼓ジュニアコンクール及び特別講習会の経験をチームの糧として今後の成長に役立てて行きたいと考えております。お世話をしていただきました皆様に心より感謝申し上げます。

最後に今回コンクール及び特別講習会に参加したチームリーダーの感想文を紹介させていただきます。

今回の特別講習会を通して、多仲や一門がまた成長できる気がしました。自分でも気づかないところや、なかなかうまくいかないところなど、先生方のアドバイスのおかげでうまくいきました。また、なかなか直せなかった自分の打ち方のクセを指摘していただき、アドバイスをいただいたことで直すことができました。この特別講習会を受講して自分だけでなくチーム全体として多くのアドバイスをいただくことができました。機会があれば、また、受講したいです。

太鼓衆多仲や一門 福居 慎也(18歳)

第17回日本太鼓全国フェスティバルを開催！

真夏日となった七夕の7月7日（日）に富山県の砺波市文化会館で日本太鼓全国フェスティバルが行われました。チューリップ公園に隣接する会場で、全国各地を代表する9チームによる演奏を多くのお客様に楽しんでいただきました。詳細は、次号でご紹介させていただきます。

出演：富山県合同チーム（富山）、善通寺龍神太鼓（香川）、太鼓道場「風の会」（山形）、恵那のまつり太鼓（岐阜・障害者チーム）、水舞流越中八幡太鼓保存会（富山）、助六太鼓保存会（東京）、橘太鼓「響座」（宮崎）、銚子はね太鼓保存会（千葉）、手取亢龍若鮎組（石川・Jr.コンクール優勝チーム）

第15回日本太鼓全国障害者大会出場チーム決定！！

10月6日（日）東京都文京区の文京シビックホールにて、第15回日本太鼓全国障害者大会が開催されます。全国より35団体が出演致しますので、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

期日：2013年10月6日（日） 11：30開場 12：00開演 17：00終演予定

会場：文京シビックホール（東京都文京区） 入場：無料

出演35団体は以下の通りです。（順不同）

石川県立明和特別支援学校 龍剣太鼓、社会福祉法人 南陽園 ふれあい和太鼓、石川県立ろう学校 風神太鼓（以上石川）、四国中央磐座太鼓ろうあ部会 鼓龍会（愛媛）、社会福祉法人 大分県社会福祉事業団 大分県 糸口学園 糸口太鼓（大分）、豊中ろう和太鼓クラブ「鼓響」、すまいる和太鼓クラブ（以上大阪）、恵那のまつり太鼓、ファミリーユニット童鼓（以上岐阜）、富岳太鼓 龍神組、静岡ハンディキャップ太鼓の会、なごみ太鼓喜楽、金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム、金谷大井川川越し太鼓浜松チャレンジチーム、伊豆医療福祉センターどんつく、遠州袋井太鼓保存会・スマイルズ、風のひびき、静岡県立静岡北特別支援学校 北龍太鼓（以上静岡）、社団法人東京都聴覚障害者連盟事業部大江戸助六流東京ろう者と太鼓倶楽部「鼓友会」、筑波大学付属桐親会和太鼓クラブ、和太鼓 流星群 with X、はねっ鼓（以上東京）、徳島県立国府支援学校 和太鼓部（徳島）、鼓友 夢光組（富山）、御諏訪太鼓保存会 湖響龍夢、和太鼓ちんどん、諏訪養どんどん太鼓（以上長野）、神戸なかよし太鼓、神戸ろう太鼓集団 鼓神（以上兵庫）、広島市中途失聴・難聴者協会 文化部 和太鼓 天手鼓舞（広島）、みのり会みのり太鼓（福岡）、やまびこ太鼓、あだたら和太鼓（以上福島）、社会福祉法人 同朋福祉会 あそかの園 同朋太鼓（山口）、甲州ろうあ太鼓（山梨）

各地で太鼓講習会を開催！

＜第47回日本太鼓全国講習会(長野)＞

6月22・23日(土日)、長野県支部主管の全国講習会を箕輪町の「箕輪町文化センター」にて実施いたしました。地元長野県をはじめ、20都府県から147名が受講しました。開会式では、塩見理事長、古屋邦夫支部長、唐澤義雄箕輪町教育長からそれぞれ励ましと歓迎の挨拶があり2日間の講習会が始まりました。初夏の長野で受講生は熱心に講習を受けていました。

- 基本講座講師 総合指導 古屋 邦夫
- 3級基本講座 渡辺徳太郎
- 4級基本講座 若山 雷門
- 5級基本講座 安江 信寿

- 専門講座講師
- 尾張新次郎太鼓講座 安井 富
- 締太鼓講座 長谷川 義
- 御諏訪太鼓講座 松枝 明美

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

- 1級検定 10名受験 8名合格(4名認定)
- 2級検定 37名受験 34名合格(13名認定)
- 3級検定 20名受験 20名合格
- 4級検定 28名受験 28名合格
- 5級検定 39名受験 39名合格



(4級基本講座の様子)



(尾張新次郎太鼓講座)

＜第57回日本太鼓支部講習会(道北)＞

6月15・16日(土日)、北海道道北支部主催による支部講習会が「旭川市北部住民センター」で行われました。今回は北海道内から48名が参加しました。開会式では主催者代表として安田優司支部長、当財団大澤事務局長からそれぞれ歓迎と励ましの挨拶があり2日間の講習会が始まりました。新緑の北海道で受講生は熱心に2日間の講習会を受けていました。

- 基本講座講師 総合指導 古屋 邦夫
- 4級基本講座 渡辺徳太郎
- 5級基本講座 橋本 光司

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

- 4級基本講座 4名受験 4名合格
- 5級基本講座 44名受験 44名合格



(挨拶をする安田支部長)

＜第7回台湾太鼓講習会＞

7月13・14日(土日)、台湾太鼓協会主催の太鼓講習会を台中にて実施いたしました。初日は、早朝に台風が台湾を直撃して影響が懸念されましたが、多くの関係者の努力により開始時間や会場などを変更するなどの対応をし、無事開催することができました。

開会式では王理事長の挨拶に続き、総合指導の古屋技術委員長が講習会の内容を説明、日本からの指導講師を紹介して、台湾とシンガポールより103名が参加した講習会が行われました。

- 基本講座講師
- 3級基本講座 松枝 明美
- 4級基本講座 渡辺徳太郎
- 5級基本講座 古屋 邦夫

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

- 3級検定 28名受験 28名合格
- 4級検定 23名受験 23名合格
- 5級検定 52名受験 52名合格

各種会議を開催

＜理事会＞

6月6日(木)に第3回理事会が開催され、次の事項が審議、承認されました。

1. 2012年度事業報告及び決算報告
2. 評議員会の開催について

＜評議員会＞

6月25日(火)に第3回評議員会が開催され、次の事項が審議、承認されました。

1. 2012年度事業報告及び決算報告

＜代議員会＞

7月11日(木)に、第16回代議員会と第49回運営委員会・第48回技術委員会の合同会議が港区三田の笹川記念会館で開催されました。

代議員会には、46支部中、新潟、奈良、鳥取、広島、熊本、沖縄を除く40支部、一般会員、賛助会員、財団事務局に加え日本財団から当財団担当者が出席、総勢80名により開会しました。

冒頭、笹川良一、小口大八、池田庄作の3氏と津田正元会長など故人に対し黙祷の後、議事に入りました。

議事、承認された事項は次の通りです。

1. 2012年度事業報告及び決算報告
2. 2013年度事業計画及び収支予算
3. その他

＜運営委員会・技術委員会＞

1. 2012年度事業報告及び決算報告
2. 2013年度事業計画及び収支予算
3. 日本太鼓資格認定制度について

①公認指導員の認定について

資格を喪失していた大分県の富永希一氏(3級公認指導員)の復権とブラジル太鼓協会より推薦があった山本雄二氏の3級公認指導員認定が承認された。

②第5期公認指導員更新研修会の結果について

2012年度に実施した第5期公認指導員更新研修会の参加状況を報告。更新対象者220名の内、181名が更新を終了し、了承された。

③日本太鼓資格認定規程について

受検者の年齢制限について検討し、講習会開催年度内に10歳となる場合は、これを認めることとした。

4. その他

公認指導員更新研修会欠席者(未更新者)の対応について

2012年度は公認指導員の更新研修会が4回に亘り行われました。更新対象者220名の内、181名が更新を終了、39名の欠席者の対応について、欠席の諸事情を勘案の上、塩見運営委員長と古屋技術委員長とで協議され、以下の通り対応することが委員会にて承認されました。なお、免除された場合においても8月中に更新の手続きが必要となります。

○出席を免除し更新手続きを行う者

- | | | |
|---------|----|--|
| 1級公認指導員 | 4名 | 1-3 半間正(新潟)、1-25 田中 誠一(米国)、1-31 脇元勝己(鹿児島) |
| | | 1-43 蓑輪敏泰(宮崎) |
| 2級公認指導員 | 7名 | 2-5 貫井武雄(千葉)、2-17 笹光雄(茨城)、2-23 福野富子(長野) |
| | | 2-29 河野勇(埼玉)、2-30 清原昭子(埼玉)、2-38 釜口治一(石川) |
| | | 2-61 佐藤貢一(大分) |
| 3級公認指導員 | 7名 | 3-59 大塚利美(群馬)、3-61 萩原洋子(群馬)、3-64 小山喜代子(埼玉) |
| | | 3-90 河野豊(大分)、3-102 吉岡佳子(秋田)、3-109 鈴木礼子(秋田) |
| | | 3-179 蓑輪真弥(宮崎) |

○降格とする者

- | | |
|-------------------|--|
| 2級公認指導員から3級公認指導員へ | 3名 |
| | 2-45 坂田憲章(富山)、2-49 高橋秀行(福井)、2-58 青木眞一(熊本) |
| 3級公認指導員から1級技術認定員へ | 8名 |
| | 3-65 嶋田淨(埼玉)、3-66 小川秀文(千葉)、3-143 加藤修(神奈川)、3-144 加藤真由美(鹿児島) |
| | 3-172 中村三千代(東京)、3-184 谷上悦子(大阪)、3-185 山名利枝(大阪)、3-188 三角泰子(福岡) |

○資格喪失とする者

- | | |
|---------|--|
| 2級公認指導員 | 2名 |
| | 2-9 樋口忠三(島根)、2-10 藤沢清美(岩手) |
| 3級公認指導員 | 8名 |
| | 3-20 本田幸男(鳥取)、3-49 松川周司(福島)、3-53 吉田正宏(福島)、3-54 福地隆一(福島) |
| | 3-57 柿沼幸枝(群馬)、3-58 下村玲子(群馬)、3-125 高橋浩一(秋田)、3-126 堀嘉哉(秋田) |

事務局だより

第48回日本太鼓全国講習会（山形県酒田市）

期日：2013年11月9・10日（土日）

主管：日本太鼓財団山形県支部 会場：酒田勤労者福祉センター（酒田市緑町19番10号）

総合指導 古屋 邦夫（技術委員会委員長）

専門講座

御諏訪太鼓講座（複式単打法） 松枝 明美（長野県）

助六太鼓講座（単式複打法） 今泉 豊（東京都）

縮太鼓講座（単式単打法） 長谷川 義（大分県）

申込先：（公財）日本太鼓財団

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2

TEL 03-6229-5577 FAX 03-6229-5580

基本講座

3級基本講座 鈴木 孝喜

4級基本講座 渡辺徳太郎

5級基本講座（初心者講座） 安江 信寿

お問い合わせ先：日本太鼓財団山形県支部

担当：斎藤公乃

TEL 090-3367-5567

申込締切：10月13日（日）（当日到着分まで有効）

第58回日本太鼓支部講習会（宮城県石巻市）

期日：2013年8月24・25日（土日）

主催：日本太鼓財団宮城県支部

会場：石巻市河北町総合センタービッグバン（石巻市）

総合指導 古屋 邦夫（技術委員会委員長）

基本講座

3級基本講座 鈴木 孝喜

4級基本講座 渡辺徳太郎

5級基本講座（初心者講座） 松枝 明美

お問い合わせ・申込先

日本太鼓財団宮城県支部 事務局長 片岡大助

〒987-0621 宮城県登米市中田町宝江黒沼字蓬原51-4

TEL 090-2970-8342 FAX 0220-34-2450

申込締切：8月13日（金）

第59回日本太鼓支部講習会（北海道岩見沢市）

期日：2013年9月28・29日（土日）

主催：日本太鼓財団北海道道西支部

会場：幌向総合コミュニティセンターほっとかん（岩見沢市）

総合指導 古屋 邦夫（技術委員会委員長）

基本講座

3級基本講座 渡辺徳太郎

4級基本講座 橋本 光司

お問い合わせ・申込先

日本太鼓財団北海道道西支部 副支部長 秦野智徳

〒069-0372 岩見沢市幌向南2条3丁目315-18

TEL 0126-26-2825 FAX 0126-26-3939

申込締切：9月2日（月）

第10回日本太鼓シニアコンクール出演者募集！

日 時：2013年11月24日（日） 開演14:00

*午前中に日本太鼓ジュニアコンクール石川県大会が行われます。

会 場：白山市松任文化会館（石川県白山市古城町2番地）

主 催：（公財）日本太鼓財団、（公社）石川県太鼓連盟、（財）石川県芸術文化協会、北國新聞社

出場資格 ①個人が審査の対象となる場合は、大会当日満60歳以上であること。

②団体が審査の対象となる場合は、全員が大会当日満60歳以上であること。

演奏時間：3分以上5分未満

費 用：全ての費用は出場者の自己負担（参加料は不要）

申込先：（公財）日本太鼓財団事務局 〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2

TEL 03-6229-5577 FAX 03-6229-5580 メール：info@nippon-taiko.or.jp

申込締切：9月30日（月）

訃報 津田 正 元会長ご逝去（享年80歳）

財団設立間もない2000年からの4年間、当財団の第2代会長を務めていただいた津田 正氏が去る6月3日にご逝去されました。

津田会長には、草創期の財団の基礎固めに色々ご指導いただきましたが、中でも2002年度から始まった新学習指導要領に対応し、太鼓の購入を促進するための財源確保を当時の自治省に積極的に働きかけていただきました。その結果、和太鼓購入を促すため地方交付税法が2002年3月に一部改正されるなど日本太鼓の普及・振興にご尽力をいただきました。

ここに謹んでお悔やみを申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。